

厚生労働科学研究費補助金（移植医療基盤整備研究事業）  
（分担）研究報告書

臍帯血移植体制の強化・効率化と移植成績向上および新規細胞療法開発のための研究

臍帯血バンクにおける調製方法等の共有化

研究分担者 木村 貴文 日本赤十字社近畿ブロック血液センター  
甲斐俊朗 兵庫さい帯血バンク

研究要旨

臍帯血の均一的な質的向上を目的として各バンクの臍帯血調製・保存法等の共有化を目指し、臍帯血バンクの自己点検および相互点検を実施してその実情を把握した。

A. 研究目的

質の高い臍帯血保存のために、各バンクの臍帯血調製・保存法等の共有化を目指し、新たな調製法についても検討する。

異なるものの細部では異なる点も多いことが判明し、精度管理上もその手順の共有化が望ましいと考えられる。

B. 研究方法

- 1) 相互点検実施要綱、実施手順の作成
- 2) 各バンクの各種手順書を参考にして相互点検のためのチェックシートを作成
- 3) 相互点検を行い、調製保存・検査・搬送等の手順の詳細につき検討し共有
- 4) 高品質かつ利用率の高い臍帯血の公開件数の増加を図る方策を検討し共有化

E. 結論

全国の臍帯血バンクで臍帯血の調製・保存方法を共有することは品質向上に寄与するのみでなく、均質な臍帯血を移植病院に供給できるという点で重要であるためその実現のためには自己点検および相互の点検が重要であると考えられた。

（倫理面での配慮）

臍帯血の採取に際しては匿名化がなされているので倫理的には問題ないと考えられる。

F. 健康危険情報

非該当

C. 研究結果

全国6つの臍帯血バンクが実施している自己点検等への他バンクから調査員の相互受入れを実施し（令和6年12月～令和7年2月）、各バンクの実情を把握した。

G. 研究発表

1. 論文発表：未
2. 学会発表：未

D. 考察

各バンクとも基本的な作業手順に大きな差

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得：なし
2. 実用新案登録：なし
3. その他：なし